

杉戸町立図書館サービス計画 事業評価シート

令和5年度版

1. 趣旨

この事業評価シートは、「図書館法」（昭和25 年法律第118 号）第7 条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24 年文部科学省告示第172 号）に基づき、杉戸町立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「杉戸町立図書館サービス計画」の「5. 指標の取組と成果」の達成度に基づき評価を行った。

3. ABC評価の評価基準

評価	基準
A	計画どおり事業を実施し、目標水準を満たしている。
B	計画どおり事業を実施したが、一部に課題がある。
C	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

■基礎数値

			基準値	R5目標数値	R5
図書館	人口一人当たり	来館者数(H30)	4.30人	4.52人	3.09人
		利用者人数(H30)	1.61人	1.69人	1.35人
		貸出冊数(H30)	5.43冊	5.70冊	4.48冊
	利用者アンケート ※	資料に対する満足度	55%	60.6%	61%
		総合的な満足度	70%	73.5%	77%
公民館 図書室	人口一人当たり	利用者人数(H30)	0.15人	0.16人	0.10人
		貸出冊数(H30)	0.40冊	0.42冊	0.23冊
	利用者アンケート ※	資料に対する満足度	24%	34.6%	47%
		総合的な満足度	51%	56.2%	64%
全体	人口一人当たり	貸出冊数(H30)	5.8冊	6.12冊	4.7冊

※：年度内に実施する利用者アンケート結果の平均値となります。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ①	資料の収集と保存
取組内容	利用者にとって活用しやすい蔵書構成とするため、資料収集方針に基づき選書を、除籍基準に基づき除籍を進め、新鮮かつ、多種多様な蔵書構成を図ります。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
利用者への資料提供のため図書・視聴覚資料等の発注・配架を行います。	図書8,633冊・視聴覚資料等57点の受入・配架を行いました。
選書については、定期的な選書ミーティングを開催し、幅広い資料収集に努めます。	月1回の選書ミーティングを開催し、資料の充実に努めました。
読者のニーズに応えるため、利用者アンケートを実施します。	令和5年12月1日～12月28日の期間に図書館、すぎめ一にてアンケートを実施しました。

2 該当する数値指標

			基準値	R4	R5
人口一人当たり	図書購入費	目標	202.8	225.3	225.3
		実数		203.8	402.6
	蔵書冊数	目標	4.75	4.87	5.38
		実数		4.49	4.46

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	目標はおおむね達成できたが蔵書冊数については、数値指標を達成できなかったため。	引き続き図書資料費を増額要求する。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	図書館資料費については、継続して増額要求し目標達成に向けて邁進されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ②	図書館利用の促進
取組内容	図書館が暮らしや学びの手助けとなるように、図書館活用方法の講座などの開催、また、レファレンスサービスの充実を図るなど資料貸出以外の図書館サービスの周知と利用促進に努めます。 利用者アンケートで幅広い年代のニーズが多かったマンガについても一定の基準を設け、収集を検討します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
公民館図書室のリクエスト件数増のためのポスター等掲示を検討します。	リクエストについてのポスターを各図書室に掲示しました。
児童向け図書館事業において、図書館利用案内を行います。	新一年生図書カード&図書館バックプレゼント図書館イベント、図書館お泊り会等において、図書館クイズや案内等を行いました。
委託業者と連携、調整しながら時節と時事に合わせた特集展示や館内装飾に努めます。	毎月2回の特集展示と年6回の特別企画を行いました。館内装飾については、毎月季節に合った装飾を行いました。

2 該当する数値指標

			基準値	R4	R5
図書館	受入冊数	目標	5,649	5,790	5,935
		実数		5,333	3,805
	リクエスト処理件数	目標	13,033	13,359	13,693
		実数		16,394	14,651
公民館 図書室	受入冊数	目標	340	1,190	1,190
		実数		1,122	4,828
	リクエスト処理件数	目標	3,726	3,819	3,915
		実数		2,298	1,649
図書利用新規登録者数		目標	873	895	917
		実数		914	892
図書館利用促進事業実地回数		目標	2	2	2
		実数		2	2

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
C	目標についてはおおむね達成できたが、数値指標について、受入冊数、公民館リクエスト処理件数、新規登録者数は達成できなかったため。	図書館ホームページや図書館だより等を活用し、図書館の活用方法などの周知に努める。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
C	数値実数の未達成について、コロナ禍回復や中央公民館閉館等、諸々の原因があるが、それらを踏まえた上で増となる方策の検討が必要と思われる。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ③	地域・行政資料の充実
取組内容	【総合振興計画 未来像 3】の「生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち」を実現するために、地域に関する図書・逐次刊行物・パンフレットなど多様な形態の資料・情報を適時的、網羅的に収集します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
継続した行政・地域資料の受入・保管のため、年2回(5月と2月)行政各課・関係団体に依頼と確認を行います。	各課への積極的な地域収集に至らず、基礎的な行政資料の整備、配架のみとなりました。
閉架・開架にある地域資料の分類の確認と整備変更を行い、9月蔵書点検時に開架配置の変更と整理を行います。	4月～8月に資料分類の見直しと整備変更を行い、9月に大まかな並び替えを行いました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
地域資料受入れ冊数	目標	104	109	115
	実数		107	147

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	地域資料の整理、整備変更のため資料収集調査を停止したため。	地域資料の配置検討と町内資料の調査、収集を進めていく。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	概ね良好な進捗であるが、今後の目標として本格的な調査・収集を推進されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ④	図書館サービス網の充実
取組内容	図書館本館へ来館が困難な利用者にとっては、最寄りの公民館図書室の充実が重要です。そのためにも館ごとの地域性やニーズを考慮して、蔵書の更新や、展示手法を工夫し、また、インターネットを活用することで身近な公民館図書室になる点などをPRし、利用しやすい公民館図書室づくりに努めます。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
各公民館図書室の資料新規購入と整理を行います。 令和5年度：東公民館とコミュニティセンター	東公民館の図書資料の見直しと整理、館内装飾を行いました。 東公民館図書資料：837冊受入 (一般書 837冊 児童書 551冊)
各公民館図書室の配架と装飾装備、備品の見直しを行い、親しみやすい雰囲気づくりに努めます。	コミュニティセンター図書室資料の購入と配架、旧図書資料の装備変更等を行いました。 コミュニティセンター図書資料：3,860冊受入 (一般書2,782冊 児童書1,078冊)
	東公民館図書室の配架や装飾、備品の見直しを行いました。

2 該当する数値指標

該当なし

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標について、おおむね達成した。	泉公民館図書室の資料見直しと整理を行う。 コミュニティセンター図書室の資料購入を進める。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	概ね良好な進捗であり、引き続きこの調子で業務を推進されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ⑤	広報活動の充実
取組内容	図書館の場所を知らない、または利用したことがない町民も多く存在することから、発信する内容は定例的な周知の情報だけではなく、町民にとって有益で図書館サービスへの理解が深まる事柄についても提供します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
「図書館だより」について他の町内民間店舗への配布、設置の交渉を行います。	民間業者と交渉しましたが、不調となりました。
図書館システムの更新に伴い、新規のシステムを活用した情報提供に努めます。	令和6年4月より、図書館システムLINE連携を開始しました。
図書館専用ホームページの作成について、関係課と協議を行います。	令和6年2月より図書館ホームページが公開となりました。
図書館事業について、様々な媒体を利用し周知に努めます。	広報すぎと、図書館ホームページ、すぎめー、図書館だより、館内チラシ、ポスター等を利用して、図書館イベント等情報発信を行いました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
情報発信回数	目標	502	502	502
	実数		516	526

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	数値指標は達成できたが、目標について結果が不調となったものがあったため。	引き続き、他の町内民間店舗へ配布、設置の交渉を行う。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	図書館ホームページが完成したため、図書館情報が一か所で見れるようになったことは評価する。 LINE登録等については、より一層の周知を期待したい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ⑥	非来館型サービスの導入の検討
取組内容	新型コロナウイルス対策や、様々な事情から来館が困難な利用者に対応するため、来館せずに資料を入手できる非来館型サービスの検討をします。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
電子図書館の周知と予算増の要求を進めます。	図書館ホームページトップにおいて、電子図書館への直接リンクをはり、周知に努めました。

2 該当する数値指標

該当なし

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	図書館ホームページの開設により、電子図書館の利用について増の傾向が見られた。 予算については増額とはならなかった。	電子図書館のQRコードによる周知と予算増の要求を進める。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	電子図書館について、現状の取り組みの他、更なる周知を図られたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ①	子育て世代・乳幼児サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 1】の「まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち」を実現するために、子育て関連図書や定番絵本などを重点的に収集し、親子で参加できる読み聞かせや関連事業の開催等を定期的実施することで、乳幼児と保護者が楽しく本や紙芝居、視聴覚資料等に触れあえる機会を創出します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
乳幼児からおはなしに親しむため保育園を訪問し、町内保育園おはなし会を開催します。	すぎと保育園、泉保育園にて54回、開催しました。
乳幼児～児童とその保護者に対しておはなしや本に親しむためのイベントを開催します。	下記のとおり開催しました。 小さい子のおはなし会 12 回 図書館・公民館おはなし会 90 回 0、1、2歳の絵本さがし 12回 ブックスタート事業 12回 ライブラリースタート事業 12回

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
乳幼児サービス事業実施回数	目標	154	154	154
	実数		157	192

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標並びに数値指標について、おおむね達成した。	次年度も継続する。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	概ね良好な進捗であるが、ブックスタートについて、他自治体の情報を収集し、保険センターと読み聞かせ再開の交渉を検証されたい。また、保育園読み聞かせについて、私立保育園等も検討して見ていただきたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ②	児童・YA(ヤングアダルト)サービス
取組内容	児童、生徒たちが積極的に読書をしたくなるような魅力的な資料の収集、読み聞かせなどの、読書への喚起となるイベントの実施などを行い、読書支援を行います。他に、図書館見学、職場体験やインターンシップなどを積極的に受け入れます。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
児童、生徒にとって身近な図書館となるよう児童・YA向け図書館イベントを開催します。	図書館お泊り会(7/23～7/24)、朝活図書館(7/26～7/29日)、夏休み講座「宝石せっけんをつくってみよう」(7/30)、試験勉強がんばらnight(7/1、11/25、2/17)、修読旅行(12/16～12/17)を開催しました。
児童向け広報「すぎともだより」の発行回数増を検討します。	児童向け広報「すぎともだより」(年6回)を発行し、図書館、公民館、町内小学校に配布しました。
町内中学校の職場体験を積極的に受け入れ、図書館についての理解を深める活動を取り入れます。	中学生の職場体験を以下のように受入しました。 ・杉戸中学校(9/7～9/8) 3名 ・広島中学校(10/24～10/25) 4名
町内小中学校の児童に対し、ブックトークを実施します。	以下の小学校に対して、ブックトークを実施しました。 ・杉戸第二小学校 4月 3年～6年生 ・杉戸小学校 11月 2～3年 2月 4～6年

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
児童・YAサービス事業実施回数	目標	58	58	58
	実数		12	26

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	すぎともだよりの発行回数やブックトーク開催回数について増となったが、数値指標を下回り達成できなかったため。	ブックトークについては各学校に引き続き働きかけていく。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	ブックトークについて、昨年度と比べて増となっていることから、引き続き各小学校に働きかけを継続されたい。 実績について、図書館主催以外の図書ボランティアの活動も評価に含めることを検討してもいいのではないかな。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ③	一般成人サービス
取組内容	様々な世代の成人向けにビジネス、就職、法律、福祉、などに関する日常に役立つ資料を中心に収集に努めます。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
資料収集方針に従って、一般成人に役立つ資料を網羅的に収集に努めます。	コミュニティセンター図書室に起業支援の関連書籍を67冊購入し、配架しました。
オンライン配信についての情報収集を行います。	コロナ禍の終息に伴い、具体的な事例等の情報収集ができませんでした。
成人向けの図書館イベントの情報収集を行います。	民間企業との提携により2/18「大人の学び講座「睡眠」と「健康」の知恵袋講座」を開催しました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
一般成人サービス事業実施回数	目標	8	8	8
	実数		3	7

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	ワクチン接種会場となっていたため中止となったイベントがあり、数値指標を達成できなかったため。	資料については引き続き収集し、成人向けイベントについては開催に向けて情報収集を行う。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、問題解決に向け今後も継続されたい。また、数値指標と取り組み内容がかみ合っていないと思われることから、修正を検討されたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ④	高齢者サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 4】の「自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち」を実現するために、高齢者に関心の高い健康に関する資料を重点的に収集し、生きがいにも繋がる各種事業を実施するとともに、図書ボランティア活動などの場を提供します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
関係課からの情報収集や意見を取り入れ、特集展示等を行います。	9月の特集展示として高齢介護課(地域包括センター)とコラボ展示「認知症特集」を行いました。
他市町村の高齢者事業について、情報収集を行います。	近隣市町村の高齢者サービスについて、情報収集を行い、高齢介護課と高齢者のニーズについて意見交換を行いました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
高齢者サービス事業実施回数	目標	2	2	2
	実数		1	1

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	開催日時、場所等の確保が困難で数値指標を達成できなかったため。	他市町村や団体など的高齢者事業について、情報収集を行う。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	現状、展示のみとなっていることから、具体的な事業実施について期待したい。 高齢者のニーズと目標の立て方に工夫が必要である。また、高齢者参加型事業も検討されたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ⑤	障がい者サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 4】の自らの健康を守りながら安心して暮らせるまちを実現するために、障がい者の自立や社会参画、障がい者への差別解消や合理的な配慮、及び、読書バリアフリー法の趣旨が実現されるよう、周知し、活字による読書が困難な方に配慮した資料の収集、展示、機器の整備等に努めます。 他に、音訳ボランティアなど障がい者サービスに関わるボランティアの活動を支援します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
点字資料等の郵送に関して、郵便局より第四種郵便物の申請を完了します。	12月より特定録音物等郵便物発受施設の指定となりました。
他市町村の障がい者サービスについての情報収集を行います。	鳩山町立図書館へ宅配サービスについてのヒアリングを行いました。
大活字本、録音資料等、読書が困難な方に配慮した資料の収集を行います。	購入した大活字本15冊(47,630円)を配架しました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
障がい者サービス事業実施回数	目標	1	1	1
	実数		0	0

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	杉戸郵便局へ第四種郵便物の申請が完了したが、数値指標が達成できなかったため。	障がい者の方への電子書籍やオーディオブック等の活用方法の周知について検討する。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	障がい者に対しての電子図書の周知や具体的なサービスについて、公民館の活用も含めて検討されたい。特に読むことのバリアフリーの観点から「りんごの棚」の充実を早期に進められたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ⑥	多文化サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、庁内関係課と連携しつつ、外国語資料や日本の文化や生活の理解に役立つ資料の収集や、関係事業の開催を検討します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
国際交流協会の協力のもと、図書館案内の翻訳予算要求(令和6年度予算)を行います。	令和6年度予算において、2か国語の翻訳予算が認められました。図書システムの変更に合わせて、翻訳を進めていきます。
関係課と調整し、情報収集を行い、杉戸町に合わせた外国語資料等の収集を行います。	杉戸町日本語教室と意見交換を行い、36冊の外国語(英語資料)を購入しました。
関係課や団体と調整し、図書館資料の活用について情報収集を行います。	杉戸町日本語教室のボランティアと意見交換を行いました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
多文化サービス事業実施回数	目標	1	1	1
	実数		0	0

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	次年度の予算について翻訳予算が承認されたが、数値指標が達成できなかったため。	令和6年度に図書館案内の翻訳を完了し、図書館他施設に配布する。 関係課と調整し、事業についての情報収集を行う。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	引き続き関係課や関係団体と意見交換を行い、具体的なサービスについて検討されたい。また、海外資料の収集には限りがあることから、県立図書館の協力を得て、利用ニーズ確認等を行ってみたい。

基本方針 3	みんなでつくり育てる図書館
基本施策 ①	ボランティア・地域の人材・企業との連携
取組内容	【総合振興計画 未来像8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、ボランティアの育成や技術向上となるような講座の開催などを行いつつ、新たな人材確保のために、活動に興味を持ってもらえるような機会をつくれます。 民間事業者や地域の人材と連携し、地域の生活課題に応じた講座やセミナーなどの企画事業を実施します。 雑誌の配架数を増やすために雑誌スポンサー制度を活用し、利用者の利便性の向上に努めます。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
雑誌スポンサーについて制度を活用し、雑誌冊数の増加に努めます。	雑誌スポンサーの増にできなかった。
地域の人材を活用した講座について検討します。	読書会について、来年度以降の読書会開催について協議した。
読み聞かせボランティアの増加と育成のため、熟練度に応じたボランティア講座を開催します。	11/28、12/5に谷岡章子氏(わらべうた研究会会員)による「わらべうた講座」を開催し、15名が参加した。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
図書館ボランティア満足度	目標	80%	80%	80%
	実数		80%	75%
地域の人材を招いた講座の開催回数	目標	1	1	1
	実数		0	0
雑誌スポンサー新規契約件数	目標	1	1	1
	実数		1	0

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
C	数値目標について、全ての数値指標を達成できなかったため	読書会の開催と、雑誌スポンサーの増、並びにボランティア講座の開催に努める。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
C	ボランティア連絡会等によりボランティアとの更なる意見交換、連携に努められたい。雑誌スポンサーについては、スポンサーに頼るのではなく、図書館が購入すべきと考える。雑誌スポンサー制度の運営について見直しと検討を進められたい。

基本方針 3	みんなでつくり育てる図書館
基本施策 ②	学校との連携
取組内容	【総合振興計画 未来像2】の「子供たちに未来を拓く力を育むまち」を実現するため、積極的に学校との連携を図り、効果的な授業となるよう資料の提供だけでなく、学校に出向いて子どもたちが読書に興味、関心を高めるような活動を行います。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
町内小学校の児童に対して、ブックトークを実施し、読書の推進に努めます。	下記の日程でブックトークを開催しました。 4月 杉戸第二小学校 3年～6年生 11月 杉戸小学校 2～3年生 2月 杉戸町学校 4～6年生
町内の新一年生に対して、図書セット(図書館利用カード、読書手帳、図書バック)を渡し、学校で図書館イベントを行うことによって図書館への理解と利用を促進します。	各校に対して、図書セット(図書館利用カード+読書手帳+図書バック)を渡し、学校で図書館イベントを開催し図書館への理解と利用を促進に努めました。
町内小中学校等に対して調べもの学習等に使用する資料のレファレンスと資料提供を行います。	調べもの学習等に使用する資料のレファレンスと資料提供を158回行いました。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
小中学校への団体貸出回数	目標	71	73	75
	実数		85	158

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標並びに数値指標について、おおむね達成した。	引き続き学校との連携を進めていく。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	概ね良好な進捗であるが、図書館展示等図書館事業に学校との連携を検討してみてもいいのではないかと。

基本方針 3	みんなでつくり育てる図書館
基本施策 ③	庁内各課との連携
取組内容	庁内各課との連携により、発行している行政資料を網羅的、確実に収集すると共に、各課でPRしたい情報等で特集展示を行います。 また、行政にも役立つ図書館をPRし、政策決定過程において必要とされる資料及び情報の整備、提供を行います。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
他課との依頼やカルスタで行うイベント等に合わせ て特集展示を行い、情報のPRに努めます。	下記の展示を開催しました。 6月 健康増進課「食育」 8月 環境課・総合政策課「環境について考えよう」 住民協働課「ウクライナの青い空」 9月 高齢介護課・福祉課「認知症&民生委員」 10月 商工観光課・社会教育課「スポーツの秋」 11月 人権男女共同参画推進課「女性の人権」
継続した行政、地域資料の受入、保管のため、年2 回(5月と2月)行政各課・関係団体に依頼と確認を行 います。	資料の分類番号の見直しと装備の変更を行った ため、一時的に資料の調査を停止しました。
各課に対して、行政アカウントの周知、利用の促進 に努めます。	行政アカウントを作成しましたが、運用につい て、ルール等の調整等により運用には至りませ んでした。

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
各課連携テーマの展示回数	目標	4	4	4
	実数		4	6

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	数値指標は達成したが、行政アカウント の運用にまでは至らなかったため。	引き続き、各課に対しての行政用 アカウントの作成と周知に努め る。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	今後の目標として行政アカウントの本格的な運用を推進されたい。 また、行政資料の紹介を行う際に、官報や埼玉県報の活用を進めて もいいのか。

基本方針 3	みんなでつくり育てる図書館
基本施策 ④	職員の育成
取組内容	【総合振興計画 未来像 8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、職員の資質向上が必要不可欠です。そのために各種研修を積極的に受講し、職員のスキルアップに努めます。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
図書館職員に対し、当人の業務の段階に応じた研修を受講させ、スキルアップに努めます。	職員のスキルアップとして以下の研修に参加しました。 ・埼玉県参考調査研修会(1名) ・参考調査研修会全体研修(1名) ・著作権研修(1名)
カウンター業務等社員のスキルアップにつながる研修等が開催されるよう委託業者と調整します。	・初任者研修、中堅者研修(各1名) ・レファレンス研修(2名) ・参考調査研修会(1名) ・著作権講座(2名) ・修理研修(3名) ・児童文学連続講座(2名)

2 該当する数値指標

		基準値	R4	R5
職員の外部研修受講数	目標	4	4	4
	実数		4	3

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	新施設開館準備等により数値指標を達成できなかったため。	図書館職員と委託職員に対し、当人の業務の段階に応じた研修を受講させ、スキルアップに努める。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	図書館職員・委託職員の区別なく研修情報を共有し、広く研修を受講することによってスキルアップに努められたい。

基本方針 3	みんなでつくり育てる図書館
基本施策 ⑤	世代を超えた交流の場の形成
取組内容	【総合振興計画 未来像 3】の「生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち」を実現するために、様々な年齢や立場の方が図書館に訪れて、知識や経験を共有し、学び、交流し合える場としての機能を提供します。

1 令和5年度の具体的な目標と結果

目標	結果
「図書館まつり」において、幅広い年代が参加し、団体、参加者同士が交流できる開催に努めます。	第18回図書館まつり(3/3)を開催し、1,239人が参加しました。

2 該当する数値指標

該当なし

3 評価

(1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	昨年度と比べて図書館まつりの参加者増となった。	引き続き、各イベントについて開催の調整を進めていく。

(2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	各々の取り組みについて、創意工夫し、広く図書館を周知する活動を今後も継続されたい。